

(倫理様式 2-2-1)

## 病前独居であった脳卒中高齢者の自宅転帰に影響する要因

### 1. 研究の対象

2014年6月～2017年4月に回復期リハビリテーション病棟に入棟し65歳以上の脳卒中で、入院前お一人暮らしをされていた方

### 2. 研究目的・方法

当院の先行研究では、脳血管障害患者が自宅に転帰する因子として、日常生活動作能力と日中の介護が常時可能な同居家族の存在が必要であると報告されています。しかし、近年高齢化が進み、高齢者世帯やお一人暮らし高齢者が増加しており、家族の介護が望めず、自宅での生活が困難となる方も少なくありません。今後も高齢世帯やお一人暮らしの高齢者の増加が予測される中、回復期リハビリ病棟の役割の一つである自宅復帰支援を促進するために、本研究においてお一人暮らしの高齢者の自宅転帰の因子を抽出し、検討を行ない臨床の一助とすることが必要だと考えます。

リハビリテーション科では、回復期リハビリ病棟を退院した全ての脳卒中患者に関しデータベースを作成しています。今回の調査では、このデータと診療録を用います。方法は対象を自宅転帰群と施設群に群分けし、自宅転帰に影響する因子を挙げロジスティック回帰分析を行ないます。

これらの研究は倫理委員会承認後～平成31年2月21日の間に実施します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、転帰先、別居家族の支援状況、退院時FIM点数 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院

リハビリテーション科 研究責任者 小泉直樹

住 所：群馬県伊勢崎市太田町366

T E L：0270-24-3355 F A X：0270-24-3359